

製品名: E-Ras ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10566**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	ERAS
別名	ERAS; HRAS2; HRASP; GTPase ERas; E-Ras; Embryonic stem cell-expressed Ras
遺伝子 ID	3266.0
SwissProt ID	Q7Z444
免疫原	抗血清はヒト ERAS 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 184-233

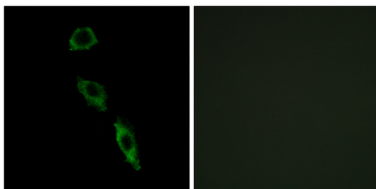
背景

この遺伝子は、低分子 GTPase Ras タンパク質ファミリーの恒常活性型メンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、未分化幹細胞においてホスファチジルイノシトール 3 キナーゼシグナル伝達経路を活性化しますが、分化細胞では発現しませ

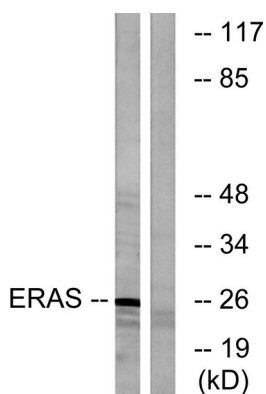
ん。この遺伝子は、癌や化学療法抵抗性に関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2012年12月],酵素制御: GDP に結合した不活性化型と GTP に結合した活性化型を交互に発現します。グアニンヌクレオチド交換因子 (GEF) によって活性化され、GTPase 活性化タンパク質 (GAP) によって不活性化されます。機能: Ras タンパク質は GDP/GTP に結合し、固有の GTPase 活性を有しています。胚性幹細胞の腫瘍様増殖特性において重要な役割を果たします。類似性: 低分子 GTPase スーパーファミリーに属する。Ras ファミリー。サブユニット: PIK3CD と相互作用する。

研究分野

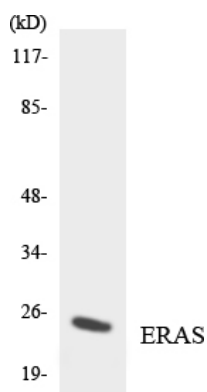
画像データ



ERAS 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



ERAS 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



ERAS 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。